

コンプラ遵守対策等学ぶ 建設関連業5団体が研修会



（一社）福岡県測量設計コンサルタント協会や（二社）建設コンサルタント協会九州支部、（一社）福岡県地質調査業協会など建設関連業5団体

は21日、福岡市博多区の福岡県中小企業振興センターでコンプライアンスに関する会員研修会を開催し写真した。約230人が参加し、コンプラ

イアンスの遵守に対する考え方やメンタルヘルス対策などについて知識を深めた。

主催は、（一社）福岡県測量設計コンサルタント協会、（二社）建設コンサルタント協会九州支部、（一社）福岡県地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会九州支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会九州支部の5団体。

冒頭、福岡県地質調査業協会の香月裕宜理事長は「昨今の社会情勢などを踏まえて、昨年度はパワハラについて、今年度はメンタルヘルス対策をテーマに設定した。この研修会を通じて、日々の暮らしや仕事で役立つものを一つでも持ち帰ってもらえれば幸いだ」とあいさつ。

研修会では「職場のメンタルヘルス対策（ストレス対処方法を身につける）」と題して、特定社会保険労務士・行政書士の伴芳夫氏と社会保険労務士・精神保健福祉士の木信輔氏がそれぞれ講演。

伴氏は、過度のストレスは問題だがストレスが全くなくてはモチベーションが上がらないとし「部下や自分自身を適度なストレス状態に持つていくのが優れた経営者だ」と述べた。またコンプライアンスについては、法令や会社のルールへの無関心が重大な問題につながるから「なぜこのルールができたのか」など、ルール策定の背景を知ることが重要だと説明。参加者は熱心に聴講していた。